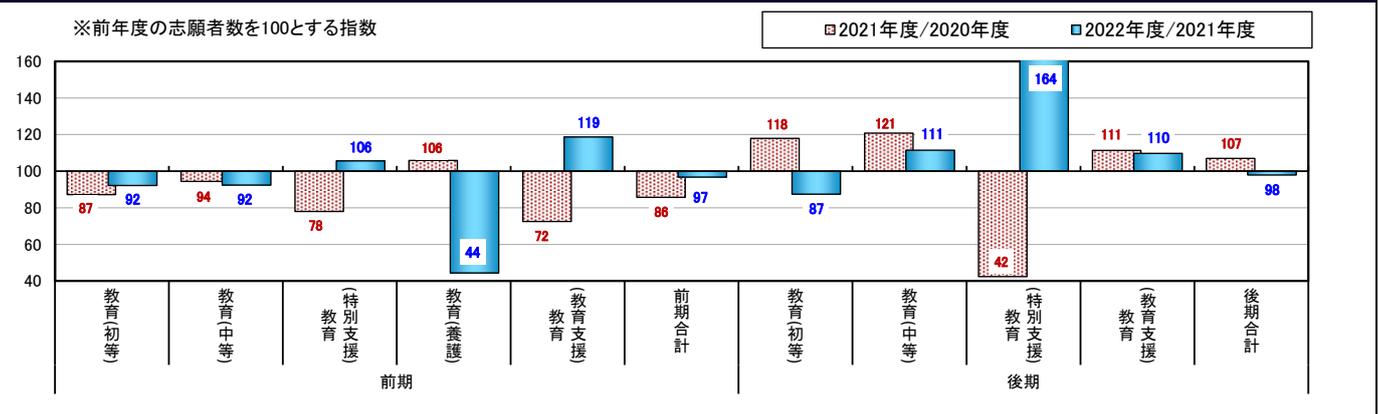


東京学芸大：前期はやや減少、後期は微減

前期：-50人 後期：-24人



主な入試変更点	<p>募集人員：教育(初等/ものづくり技術)…<前>7人→8人 共通テスト：教育(教育支援/教育支援-多文化共生教育)…<前><後>国+数2+外+(歴公 or (理・理基2))→3 →国+歴公2+数2+外+(理・理基2) 国<200>+歴公<100or200>+数2<200>+理<100or200>+外<400>=総点<1,100> →国<200>+歴公<200>+数2<200>+理<100>+外<500>=総点<1,200> 個別試験：教育(初等/英語)、(中等/英語)…<前>面→面(英語によるものも含む)</p>
---------	--

COMMENT ※ ()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は50人(97)のやや減少で2年連続減少、後期は個別試験で教科試験がなく、共通テストの平均点ダウンの影響を受けやすいが、24人(98)の微減に留まった。

<前期日程>

- 教育(初等)(92)は、減少で2年連続減少。選修別では、16選修中10選修が減少。特に、(初等/学校教育)(47)は半減以下で前年度の反動による極端な増減が継続、(初等/ものづくり技術)(64)は、前年度激減の反動はなく2年連続大幅減少で、志願倍率は1.6倍→0.9倍と1倍を下回った。一方で、(初等/幼児教育)(152)、(初等/家庭)(124)は大幅増加で、いずれも前年度の反動による増減が継続。(初等/理科)(123)は、2年連続減少の反動で大幅増加。
- 教育(中等)(92)は、減少で4年連続減少。専攻別では、11専攻中6専攻が減少。特に、(中等/英語)(50)は前年度大幅増加の反動に加え、個別試験の面接が英語によるものも含まれることとなり敬遠された影響で半減。(中等/技術)(200)は2年連続大幅減少の反動で倍増。一方で、(中等/理科)(144)は大幅増加で5年ぶりの増加、(中等/社会)(113)は増加。
- 教育(特別支援)(106)は、やや増加で、前年度3年ぶりに減少したが再び増加に転じた。
- 教育(養護)(44)は、2年連続増加の反動で44%の大幅減少。志願倍率は3.0倍→1.3倍にダウン。
- 教育(教育支援)(119)は、2年連続減少の反動で大幅増加。専攻・コース別では、7募集単位中4募集単位が増加。特に、(教育支援/教育支援-多文化共生教育)(233)は前年度半減以下の反動が大きく233%の倍以上、共通テストで必須科目の増加や配点変更があったが、影響は見られなかった。一方で、(教育支援/教育支援-生涯スポーツ)(80)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。

<後期日程>

- 教育(初等)(87)は、減少で2018年度以降前年度の反動による増減が継続。選修別では、後期募集を行う10選修中7選修が減少。特に、(初等/学校教育)(53)、(初等/社会)(63)の大幅減少が目立ったが、いずれも前年度大幅増加の反動。一方で、(初等/理科)(124)は大幅増加で2年連続増加、(初等/国語)(111)は前年度減少の反動で増加、(初等/音楽)(103)は2年連続減少の反動は小さく、やや増加に留まった。
- 教育(中等)(111)は、増加で2年連続増加。専攻別では、後期募集を行う4専攻中3専攻が減少。特に、(中等/数学)(75)は大幅減少で、前年度の反動による極端な増減が継続。一方で、唯一増加の(中等/理科)(156)は2年連続大幅増加。
- 教育(特別支援)(164)は、前年度半減以下だった反動で激増。
- 教育(教育支援)(110)は、2年連続増加。後期募集を行う3つの専攻・コースでは、(教育支援/教育支援-多文化共生教育)(132)は2年連続大幅増加、共通テストで必須科目の増加や配点変更があったが、影響は見られなかった。(教育支援/教育支援-生涯学習)(114)は、前年度減少の反動で増加。一方で、(教育支援/教育支援-情報教育)(52)は2年連続大幅増加の反動で半減。